



# 海外生活 レポート 54



桑江 美帆さん

夫の仕事で、家族で来星<sup>(注1)</sup>(移住)して7年目。仕事、出産、現地の方々と交流しながら暮らす。現在、長女7歳、長男5歳、次男3歳のやんちゃ盛りの子育てに奮闘中。リモートで日本語教師をしながら日々を送っている。

## 多民族・多国籍

来星<sup>(注1)</sup>後、強く印象を受けたのは、多民族・多国籍だということでした。この国には、中華系(70%以上)、マレー系(10数%)、インド系(10%未満)の現地人、民族がいます。シンガポールはもともとマレーシアの一部の島だったのですが、そこを訪れた中国人とマレー人の婚姻による「プラナカン<sup>(注2)</sup>」という民族もいます。それを象徴するデザインは、伝統工芸品や衣服、建物に今も残され、シンガポールの一つの代表的な文化となっています。

(注1)シンガポールは漢字で「新嘉坡」、「星嘉坡」と書くので、訪れることを「来星」と表現。

(注2)マレー語で「ここで生まれた子」の意味。少数だがインドやミャンマーの民族などとの混合もある。(プラナカン博物館資料より)



プラナカン建物:カラフルなヨーロッパスタイルの建物は街の所々で目にする事ができる。

パティック:プラナカン民族衣装の一つ。生地はろうけつ染めの布で作ったとても繊細で、さまざまな柄と色がある。モデルは長女。



係を築いているのはとても有難く、感心させられます。

## 日本が大好きなシンガポール人

シンガポールの6、70歳代の方々は日本の経済成長期に、日本の大手企業に就職し、駐在経験のある方も多くいらっしゃいます。日本の暮らしとともに得た、食や文化、エンターテイメントに魅力を感じていて、今もそれについて楽しく語ってくれます。時折、日本語で声を掛けられたりもして、とても親近感を持ちます。

若い世代にも、日本の自然豊かな暮らしや、食の新鮮さ、サブカルチャーで日本と繋がりたい人々がたくさんいることや、日本への旅行者も多く、さまざまな魅力を感じて日本語を学ぶ人がたくさんいます。

私が勤めていた日本語学校でも、学生たちは興味津々に、言語のみならず日本のあらゆることを学んでいました。ある学生は「今度旅行へ行ったらその言葉を話してみます」と言ってくれたり、日本へ留学した学生と日本で会ったりするのは、とても嬉しいことです。異文化理解は、人や世界をさらに広げてくれるので、とても大切だと感じます。



日本へ留学したシンガポール人達と:日本に帰国した際には、シンガポールの教え子に再会することも。日本での生活を尋ね、彼らからいろいろな話を聞けるのはとても嬉しいひととき。

# シンガポール共和国



ホーカーセンター:さまざまな地元料理の屋台が大集合したような、半屋外の飲食施設。いろいろな街に設置されている。おじい・おばあが作る地元料理を、一気に何種類も食べたいならホーカーへ。

ハングリーゴースト:毎年7月から8月頃に、死者のよみがえりを供養する中華系のハロウィンのような行事。供養に使われる紙銭を燃やしたり、食べ物をお供えしたりする。ちゃんと供養しないと、悪さされるという言い伝えがある。



## 英語だけじゃない!?

シンガポールは英語が主な公用語ですが、実は中国語もよく話されています。地元のマーケット、ホーカーセンターや老舗では、中国語で会話することも珍しくありません。私たち家族もそのような場所をよく訪れ、「打包(持ち帰り)」や「我愛…(…がほしい)」など、聞きなれた中国語を試みたりします。

ちなみに、中華系が多くいるシンガポールでは、子どもたちは保育園から中国語を習い始め、小学校から始まる科目「マザー・タング(家族の民族言語による読み書きを習得する科目)」で、だいたいの生徒が中国語を学ぶこととなります。

## 多文化共生から感じる暮らしやすさ

さまざまな国籍の外国人が駐在しています。交流する中で、それぞれの文化や価値観から私自身も子育ての視野がとても広がりました。長女は現地の小学校に通っていますが、学校はシンガポール人が中心で、娘も学年で唯一の日本人です。それでも、シンガポールの子どもたちは幼いころから多文化共生の中にいるためなのか、国籍に関係なく良い関

## 赤と白の独立記念日

8月9日はシンガポールの独立記念日(祝日)で、「ナショナルデー」と呼び、赤と白(シンガポールの国旗の色)の服を着てお祝いします。毎年、独立を祝ってパレードが開催され、私たちもその様子を近くで一緒に眺めたりします。独立してから今年で58年。どんな国にも歴史がありますが、私の両親より若い国がこんなに豊かで、テクノロジーも進んでいる。改めてシンガポールの発展の素晴らしさを感じる日でもあります。



ナショナルデーパフォーマンス:みんなが一斉に空を見上げて、ヘリコプターが国旗を運ぶ様子をみながら、それぞれに何かを思うというのは、とても一体感がある。

(コーディネート:編集ボランティア 安藤節子)

## INFORMATION



  
シンガポール共和国  
面積 720km<sup>2</sup>  
人口 約564万人  
言語 国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミル語。